

【的中問題！】一部ご紹介致します！

大原：公開模擬試験－第11問

下表は、製品Aの部品構成を示している。製品Aを50個組み立てる際に、部品dの正味所要量として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。なお、部品aは40個、部品bは20個の手持在庫があり、それ以外の最終製品や部品の手持在庫はない。解答は問11へマークせよ。

製品Aの部品構成表

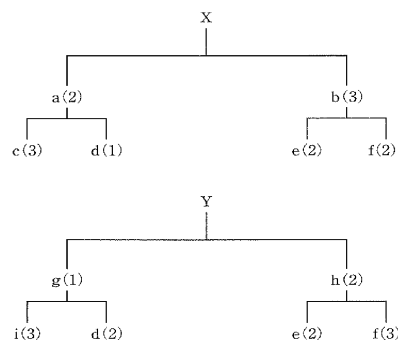
A		a		b		c	
子部品	数量(個)	子部品	数量(個)	子部品	数量(個)	子部品	数量(個)
a	1	c	2	d	1	d	1
b	1	d	2	f	1	e	2

〔解答群〕

- ア 60個
- イ 70個
- ウ 130個
- エ 180個
- オ 250個

本試験：第5問

下図は、最終製品XとYの部品表であり、()内は親品目1個に対して必要な部品の個数である。製品XとYを2個ずつ生産するときの必要部品数量に関する記述として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



〔解答群〕

- ア 部品aは2個必要である。
- イ 部品dは6個必要である。
- ウ 部品iは8個必要である。
- エ 部品共通化により部品hが部品bで代替された場合、部品bは10個必要である。
- オ 部品共通化により部品iが部品cで代替された場合、部品cは15個必要である。

大原：公開模擬試験－第36問

物流センターに関する記述として、最も適切なものはどれか。解答は問36へマークせよ。

- ア 通過型物流センターは、製造業や卸売業など川上側で採用されることが多く、入荷した商品を即座に納品先別に振り分けて一括出荷・配送する物流拠点である。
- イ 在庫型物流センターは、小売業者などロジスティクスの川下側で採用されることが多く、保管機能、ピッキング機能、出荷の荷揃え機能などをもつ。
- ウ クロスドッキング型物流センターでは、受発注データ、入出荷データ、トラックの輸配送状況・位置状況を把握できることが必須条件である。
- エ オーダー別ピッキング方式は、受注を集約して品種単位にまとめてピッキングし、その後オーダー先ごとに仕分けるものである。

本試験：第37問

チェーン小売業の物流センターの機能に関する記述として、最も適切なものはどれか。

- ア クロスドッキングは、出荷指示に基づいて、商品を庫内の保管場所から取り出し、取り揃えることである。
- イ 小売業者の仕入条件が店頭渡しの場合、在庫型物流センターの在庫の所有権は小売業者にある。
- ウ 通過型物流センターでは、温度管理が必要な低温商品を取り扱うことができない。
- エ 店舗での発注から納品までのリードタイムは、在庫型物流センターよりも通過型物流センターを利用の方が短くしやすい。
- オ 物流センターを利用すると、店舗に対する複数の納入業者からの納品を取りまとめることができ、店舗での荷受作業を軽減することができる。

④ 運営管理(オペレーション・マネジメント)

(ご注意) 本解答・配点は、令和6年8月5日(月)に一般社団法人中小企業診断協会(<http://www.j-smeca.jp/index.html>)から発表されたものです。

問題	設問	正解	配点
第1問	—	ウ	3
第2問	—	エ	2
第3問	—	ウ	3
第4問	—	オ	2
第5問	—	エ	2
第6問	—	エ	2
第7問	設問1	ウ	2
	設問2	ウ	2
第8問	—	エ	2
第9問	—	イ	2
第10問	—	オ	2
第11問	—	イ	3
第12問	—	イ	3
第13問	—	エ	3
第14問	—	エ	2
第15問	—	ウ	3
第16問	—	イ	2
第17問	—	イ	2
第18問	—	エ	2
第19問	—	エ	2
第20問	—	ウ	2
第21問	—	イ	2

問題	設問	正解	配点
第22問	—	オ	2
第23問	—	ア	2
第24問	—	ウ	2
第25問	—	ウ	3
第26問	—	ウ	3
第27問	—	イ	3
第28問	—	イ	2
第29問	—	エ	2
第30問	—	ア	2
第31問	—	イ	3
第32問	—	イ	2
第33問	—	オ	2
第34問	—	オ	2
第35問	—	エ	3
第36問	—	イ	2
第37問	—	オ	2
第38問	—	エ	2
第39問	—	イ	2
第40問	—	エ	3
第41問	—	ア	2
第42問	—	イ	2
第43問	—	ア	2
合計	44問		100